

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護管理論		選択	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
伊丹 幸子	304	s.itami	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	保健師が、公衆衛生看護の場で地域住民の良好な健康と生活を確保するために必要な実践活動である看護管理の活動について学ぶ。また、保健師の力量を高めるための自己研鑽・研究等の仕組みを理解する。さらに、公衆衛生看護管理の実際の事例から、公衆衛生看護管理の意義と機能について理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> ブレインステーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	公衆衛生看護学のまとめの科目です。今までに学んだ公衆衛生看護の各論について、復習して臨んでください。				
教科書	最新公衆衛生看護学 第3版 総論 各論1、各論2/編:宮崎美砂子、北山三津子/日本看護協会出版 [3冊指定]				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生看護学 第2版/編:上野昌江、和泉昌子/中央法規出版/ 保健師と放射線/編:保健師の活動と放射線研究班/真興交易(株) 医書出版部/2018 保健師業務要覧:井伊久美子ほか編集/日本看護協会出版 厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2022/2023/厚生労働統計協会 				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	公衆衛生看護に求められる支援体制や管理の内容を説明できる。		NS(1)~(5)		
②	保健師活動における管理的な看護機能が説明できる。		NS(1)~(5)		
③	住民の健康維持増進、地域ケアの質の確保のための施策化について説明できる。		NS(1)~(5)		
④	施策・事業を運営するために必要な予算管理・人事管理など、業務管理の必要性が理解できる。		NS(1)~(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 公衆衛生看護管理の定義と特徴	講義、演習	今までに学んだ公衆衛生看護について復習する。		4
2	保健師活動指針等法令における管理業務	講義、演習			4
3	行政看護領域における看護管理機能	講義、演習	保健医療福祉の分野で看護職が働いているところを文献で調べ一覧表にする。		4
4					4
5	地域ケア体制作りと地域マネジメント	講義、演習 グループワーク	都留市の保健医療福祉の資源を整理する。		4
6					4
7	地域住民の健康づくり活動支援における保健師の管理機能 (地域組織活動、ソーシャルキャピタルの醸成を含む)	講義、演習 グループワーク	都留市にある地域組織について調べ。		4
8					4
9	地域住民への健康支援活動 家庭訪問から施策への展開、保健師活動の特徴	講義、演習 グループワーク	提示した事例を読んで、健康課題の抽出を行う。		4
10					4
11	地域の健康危機に対する保健師活動①災害	講義、演習	国民衛生の動向にある健康危機管理体制を学ぶ。		4
12	地域の健康危機に対する保健師活動②感染症	講義、演習			4
13	保健医療福祉サービスの質を保証するための保健師の公衆衛生看護管理機能	講義、演習	国民衛生の動向にある保健師によるサービスの管理について読む。		4
14					4
15	公衆衛生看護管理の実際・レポート作成 (市町村保健師の活動の実際: ゲストスピーカー)	講義、演習	レポート作成に伴う資料の収集を行う。		4
試	定期試験 (筆記試験)				

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	20	20	0	10	10	100
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
問題を発見・解決する力	20	0	0	10	0	30	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験とする。保健師国家試験への出題問題も範囲とする。				メールで解答の解説を送付する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①	✓	公衆衛生看護管理について考察する。				レポートは後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①	✓	公衆衛生看護管理についてまとめる。				後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
その他	①	✓	日々の受講態度等を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	保健師として35年勤務し、県職保健師として県庁、保健所、児童相談所、市町村保健師業務を経験している。						
実践的授業の内容	保健師・市町村における行政保健師活動の実務経験を元に内容を構築し、公衆衛生看護管理について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 大学から示されている感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 状況により Teams を使った同方向型授業を実施する場合は通信容量無制限の Wifi 環境を推奨する。 本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。 						